

1 調査名称：外環と周辺のまちづくりに関する調査委託
(調査名：平成28年度外環周辺の都市計画道路に関する調査委託)

2 調査主体：東京都

3 調査圏域：東京都市圏

4 調査期間：平成13年度～平成28年度

5 調査概要：

東京外かく環状道路（以下、「外環」という。）は、平成19年4月に高架方式から地下方式に都市計画が変更され、平成21年5月には、関越道から東名高速までの約16kmについては事業化された。

本調査は、外環本線の地下化を踏まえ、外環の地上部街路である外環の2及び外環に関連する道路について、その検討に必要な調査を実施するものである。

I 調査概要

1 調査名称

外環と周辺のまちづくりに関する調査委託

(調査名：平成 28 年度外環周辺の都市計画道路に関する調査委託)

2 報告書目次

1. 調査概要

2. 外環の 2 に関する検討

3. 三鷹 3・4・13 支線 1、支線 2 に関する検討

3 調査体制

該当なし

4 委員会名簿等：

該当なし

II 調査成果

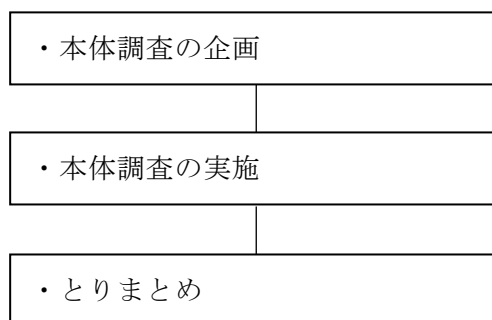
1 調査目的

「東京における都市計画道路の整備方針（平成28年3月）」では、必要性が確認された都市計画道路のうち、様々な事由により計画幅員や構造など都市計画の内容について検討を要する路線を「計画再検討路線」に位置付けている。

このうち、高速道路が地下化されたことにより検討が必要になっている外環の2（延長約4,600m）と三鷹3・4・13支線1、支線2（延長約1,000m）について、計画内容の再検討に必要な調査・検討を行うとともに、関係機関等との協議に必要な資料を作成するものである。

2 調査フロー

調査フロー図

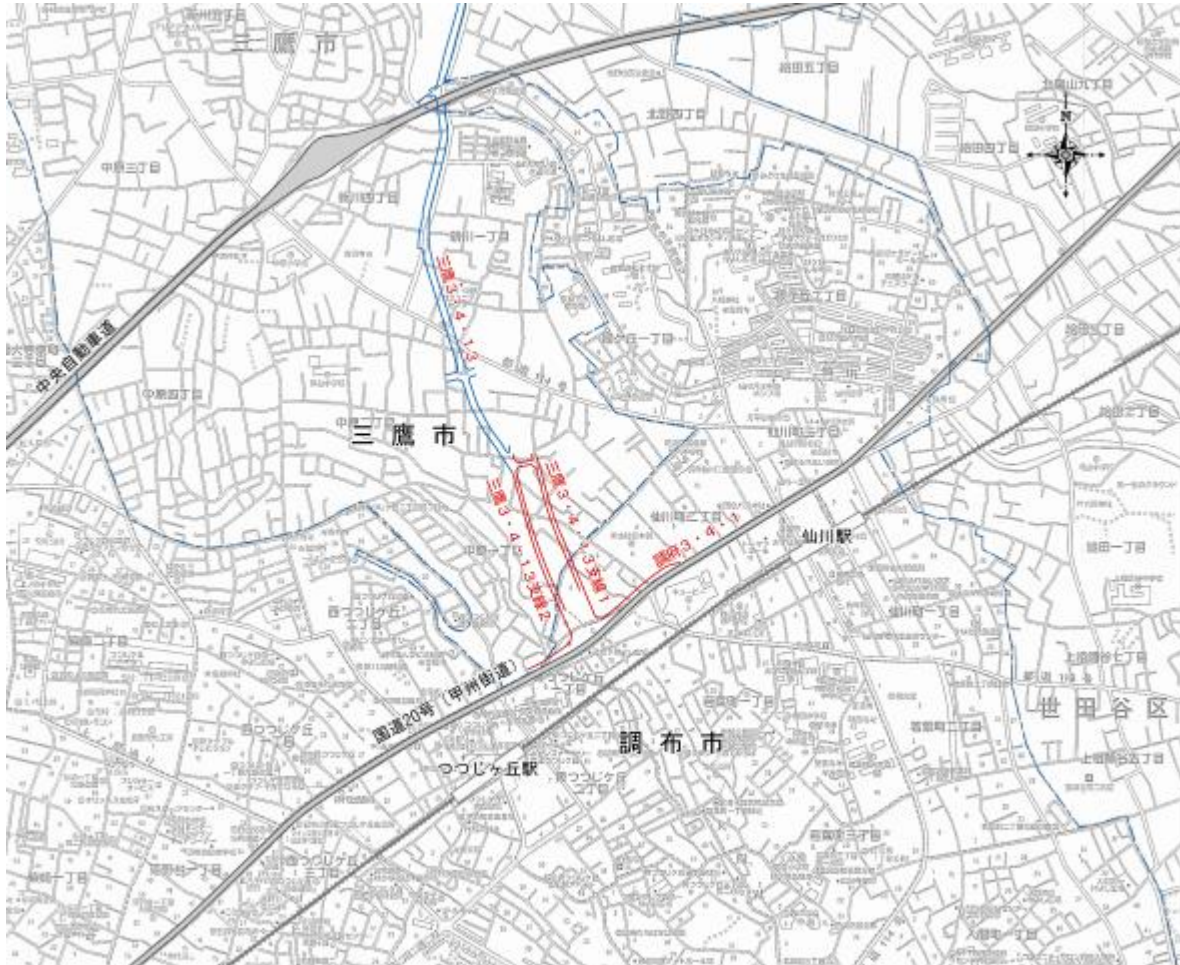


3 調査圏域図

外環の2に関する調査圏域図



三鷹3・4・13支線1、支線2に関する調査圏域図



4 調査成果

(1) 話し合いの会取りまとめ資料作成

平成21年に設置された武蔵野市における話し合いの会の中間とりまとめ資料を作成した。

(2) 必要性を検討するためのデータの作成

過年度作成した必要性を検討するためのデータを取りまとめ、杉並、武蔵野、三鷹の各地域において概要版を作成した。

(3) 代替機能の検討

「環境」、「防災」、「交通」、「暮らし」の4つの視点で外環の2の機能を整理した上で、代替機能の確保策を検討した。

(4) 三鷹3・4・13支線1、支線2に関する検討

過年度の成果をもとに、関係機関（地元自治体〔三鷹市、調布市〕、道路管理者等）との協議資料を作成した。